

2013年3月、完成。 地上10階建ての新たなランドマーク。

リハビリテーション科学部の設置に伴い、既設の中央講義棟を地上10階建てに増築し、講義室・実習室を整備しました。

6階には、主に理学療法学科で使用する動作解析実習室、物理療法実習室、運動機能評価治療室、運動療法実習室を設置。7階には、主に作業療法学科で使用するバリアフリーラボ、日常生活活動実習室、基礎作業実習室、発達評価実習室、義肢装具実習室等を設置し、各階ともに学生数に

応じたさまざまな機器・備品を備えています。

また、4階には、241名収容可能な大講義室を2室、LL教室を2室設置。5階には、216名収容可能な講義室を2室、129名収容可能な講義室を1室、90名収容可能な講義室を1室、52名収容可能な講義室を1室設置します。さらに最上階の10階には展望ラウンジを整備。石狩平野を一望することができ、試験勉強からクラブ・サークルの打ち合わせまで学生が自由に活用しています。



10階には広大なビューラウンジ。 札幌市内まで見渡せます。

全学部学科の学生がいつでも自由に利用できるラウンジが最上階に。大人数で座れるソファや、窓に向かって配置されたデスクなどが揃っており、テストの勉強からクラブ・サークルの打ち合わせまでさまざまな用途に対応しています。



バリアフリーラボ

6階と7階には、リハビリテーション科学部の理学療法学科と作業療法学科が使用する実習室を設置。各実習室には、最新の設備が導入されています。



日常生活活動実習室



10階 演習室



発達評価実習室



運動療法実習室



講義室

2階から5階には、200名以上収容可能な大講義室が7室。ほかにも、少人数制のゼミなどに対応した講義室や、LL教室、情報処理室なども設置しています。